



ぐるみ通信

<http://www.city.iida.lg.jp/site/kankyouseisakujuhou/isokenkyukai.html>

2015.3.31

「今がビジネスチャンス」 シンポジウム開催

去る2月2日、ISO 14001 自己適合宣言(2003年1月23日)及び環境モデル都市認定(2009年1月23日)を記念したシンポジウムが、真新しい市役所の新庁舎において開催されました。今年「気候変動の動向と影響について～急速に進む地球温暖化に対し、私たちはどう行動すべきか～」と題して講演・議論が行われました。



まず、慶應義塾大学大学院政策メディア研究科教授(元環境省事務次官)より、「地球温暖化の異変と私たちの暮らし」と題してご講演をいただき、小林氏から、「世界の平均気温は、21世紀末にはどんなに対策をしても年平均気温が2度上がってしまう(対策をしないと最大4.8度上昇)。また、CO₂濃度は、自然界が6,000年掛けて100ppm上昇するところを、ここ100年間で100ppm上昇しており、かつて経験したことのない領域に入ろうとしている。引き続き温暖化対策を進めていくことは必要だが、否応なしに進んでしまう温暖化に対してはあらかじめ適応することも必要となる。生命が脅かされる今、何かをしなければならぬという時が来ている。低炭素化を進めようとしている今が、大きなビジネスチャンス。環境で稼いで何が悪い、環境でこそ稼ごうというつもりで頑張っていたきたい。」とお話がありました。

また、パネルディスカッションでは、飯田市エコライフコーディネーターの絹代さんがコーディネーターを、小林氏、牧野飯田市長がパネリストとして参加し、議論が展開されました。小林氏からは、「どんなことでもエコビジネスが出来る。それを進めていく上で大切なことは、第一に単に環境だけの



価値を売るのではなくて環境が良くなると、健康になるとか、費用を安くできるなどといった環境に配慮することで付随してくるプラスの付加価値を売っていくこと。二つ目に、いろいろな人が参加できるストーリーを作り、買う側にも居場所があるようにするという作り込みが重要。三つめに、一度にはよくなる、だんだん良くなる。お客さんと売の側が一緒に育ってだんだんに良くなっていくのが勝ちパターンである」とお話を頂きました。

さらに、「飯田市のような基礎自治体は、いろいろなことが取り組めるのでとても恵まれている。縦割りにならず、横のつながりを密に」とのお話があり、絹代さんからは、「飯田市は、他市町村に比べ市役所内の組織間の横の敷居が低く、ごく当たり前に横の調整が出来ている」とご評価を頂きました。



牧野市長からは、「環境のことだけを考えていけばよいというものではない。コベネフィットを考え、環境からいろんなことを結び付けて考えていくことが大切。再生可能エネルギーの導入を進めるにしても、地域の経済、暮らしまで含めて考えていくことが重要。そのように横軸でとらえて生まれたものが飯田市の「地域環境権条例」であると発言がありました。

小林氏からは、「外からの力を使っていくことが大事。外からの人達にも開かれていて、違った考え方の人達と議論が出来るのが飯田市の特色なのでそれを生かしていくとよい。今チャレンジングなことをしているというだけでなく、それが飯田の文化・DNA

であるとして外に向けて挑発しながらいろいろなことをやっていくとよいのでは。いろいろな人に参加してもらい、お互いに育っていくような仕掛け作りが大切。」とアドバイスを頂きました。

実務者会 & 市役所新庁舎 見学会を開催しました

去る1月28日、飯田市役所にて実務者会を開催し、23名が参加しました。

研究会の実務者も入れ替わりが多いことから、南信州いいむす21の運用について再確認をしました。ISOのサーベイランスや更新審査はコンサルティングしないことが原則ですが、南信州いいむす21の訪問支援は、取組事業所の話や悩みを聞き、活動を後押しすることが目的であるため、なるべく事業所にアドバイスをするスタンスで実施していくことを確認しました。

終了後は、県産材を随所に使用し、災害時の危機管理機能を充実させた新庁舎を見学しました。市役所の環境モデル都市推進課・環境課は、今年12月末に耐震化工事を終える予定の旧本庁舎1階に引っ越します。

ムトス飯田賞受賞!

2月15日に開催された第30回ムトス飯田賞表彰式において、地域ぐるみ環境ISO研究会が、地域づくりの功績が称えられ、ムトス飯田賞(特別賞)を受賞し、萩本代表が表彰状と活動奨励金10万円、今後の活動のため



のムトスパワーアップ支援金として最高10万円の支援金(目録)を受け取りました。今後の研究会活動のために有意義に活用して参ります。

【ご意見・お問い合わせ・配信解除】
地域ぐるみ環境ISO研究会事務局
沢柳 俊之(多摩川精機)
村下、増田(飯田市役所)
ic2568@city.iida.nagano.jp